



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ

上場取引所 東

コード番号 4360 URL <https://mcps.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 耕也

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大村 元宏

TEL 03-5931-0554

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,419		402		526		432	
2021年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 362百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	54.98	
2021年3月期第3四半期		

(注) 当社は、2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,206	10,031	76.0
2021年3月期			

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,031百万円 2021年3月期 百万円

(注) 当社は、2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期					
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び第2四半期までの実績はありません。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200		660		720		560		70.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、対前期増減率はあります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	8,625,000 株	2021年3月期	株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	711,583 株	2021年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	7,860,726 株	2021年3月期3Q	株

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

1. 当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったマナック株式会社の四半期財務諸表を引き継いで作成しております。

2. 当四半期連結会計期間(2021年10月1日から2021年12月31日まで)は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2021年10月1日に単独株式移転によりマナック株式会社の完全親会社として設立されました。

新たなグループ経営体制のもと、グループ内外の連携をより注力し、今まで以上に成長を軸足に置き、迅速な意思決定で「非連続的成長」を目指してまいります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、輸出や設備投資の増加を背景に景気持ち直しの動きは続いているものの、新型コロナウイルス感染症再拡大への懸念から社会・経済活動は制限され、依然として先行き不透明な状況が続きました。世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の波が断続的に訪れ、本格的な経済活動の再開に向けては未だ予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下で当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業活動が制限されるなか、国内外の市場における顧客への取引深耕にグループが一体となり積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,419百万円、営業利益は402百万円、経常利益は526百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は432百万円となりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2022年3月期第3四半期	7,419	402	526	432
(ご参考) 2021年3月期第3四半期	6,513	450	494	384

(ご参考) 2021年3月期第3四半期実績は、マナック株式会社として公表した数値であります。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ① ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、前期は新型コロナウイルス感染症の影響による一部製品需要の鈍化があったものの、需要が回復したことにより売上は好調に推移いたしました。

その結果、売上高は2,993百万円、セグメント利益は424百万円となりました。

## ② 難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、前期は新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退傾向が表れたことにより家電製品等に使用されるプラスチック用難燃剤の需要が鈍化いたしました。その需要も回復したことから売上は好調に推移いたしました。

その結果、売上高は3,511百万円、セグメント利益は607百万円となりました。

## ③ ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析用原料は安定した国内需要を維持いたしました。また、国内における新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、広島大学と共同開発（特許取得）し製品化した固定化抗菌剤「Etak®」の需要は、当期に入り若干落ち着いてまいりました。

その結果、売上高は914百万円、セグメント利益は129百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、13,206百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,942百万円、受取手形及び売掛金3,105百万円など流動資産が7,881百万円、有形固定資産2,906百万円、投資有価証券1,919百万円など固定資産が5,325百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、3,174百万円となりました。その主な内訳は、買掛金1,935百万円など流動負債が3,068百万円、繰延税金負債64百万円など固定負債が105百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、10,031百万円となりました。その主な内訳は、資本剰余金5,714百万円、利益剰余金4,335百万円など株主資本が9,833百万円、その他有価証券評価差額金196百万円などその他の包括利益累計額が198百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月1日の「2022年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

		当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		1,942
受取手形及び売掛金		3,105
電子記録債権		339
商品及び製品		1,213
仕掛品		464
原材料及び貯蔵品		555
その他		262
貸倒引当金		△3
流動資産合計		7,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）		631
機械装置及び運搬具（純額）		1,069
土地		906
建設仮勘定		127
その他（純額）		170
有形固定資産合計		2,906
無形固定資産		234
投資その他の資産		
投資有価証券		1,919
繰延税金資産		24
その他		239
投資その他の資産合計		2,183
固定資産合計		5,325
資産合計		13,206

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間  
(2021年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,935
短期借入金	331
未払法人税等	57
賞与引当金	82
その他	661
流動負債合計	3,068
固定負債	
役員退職慰労引当金	7
繰延税金負債	64
その他	33
固定負債合計	105
負債合計	3,174
純資産の部	
株主資本	
資本金	300
資本剰余金	5,714
利益剰余金	4,335
自己株式	△517
株主資本合計	9,833
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	196
繰延ヘッジ損益	△0
為替換算調整勘定	2
その他の包括利益累計額合計	198
純資産合計	10,031
負債純資産合計	13,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	7,419
売上原価	5,758
売上総利益	1,661
販売費及び一般管理費	1,258
営業利益	402
営業外収益	
受取利息及び配当金	41
助成金収入	28
保険解約返戻金	30
その他	28
営業外収益合計	129
営業外費用	
支払利息	1
為替差損	2
その他	1
営業外費用合計	5
経常利益	526
特別利益	
投資有価証券売却益	54
特別利益合計	54
特別損失	
固定資産除却損	0
投資有価証券売却損	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	579
法人税、住民税及び事業税	79
法人税等調整額	67
法人税等合計	147
四半期純利益	432
親会社株主に帰属する四半期純利益	432

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

		当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益		432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△74
繰延ヘッジ損益		0
為替換算調整勘定		3
その他の包括利益合計		△70
四半期包括利益		362
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		362
非支配株主に係る四半期包括利益		—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,993	3,511	914	7,419
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,993	3,511	914	7,419
セグメント利益	424	607	129	1,161

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,161
全社費用（注）	△759
四半期連結損益計算書の営業利益	402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。